

# 患者主導の遠隔診療へ

## 電子お薬手帳の新機能展開

新型コロナウイルス感染症の影響が多方面に波及し、オンライン診療・服薬指導のニーズが拡大していることが予想されている。医療従事者がそれぞれの立場から患者の健康づくりを支援していく社会システムを構築しているホッペは、「電子お薬手帳」の機能を一つとして、「ホッペオンライン診療・服薬指導」サービスを展開。現場の声に応え、患者への適切な診療と調剤をサポートするサービスとして好評を得ている。

### ホッペ

新型コロナウイルス感染症の影響が多方面に波及し、オンライン診療・服薬指導のニーズが拡大していることが予想されている。医療従事者がそれぞれの立場から患者の健康づくりを支援していく社会システムを構築しているホッペは、「電子お薬手帳」の機能を一つとして、「ホッペオンライン診療・服薬指導」サービスを展開。現場の声に応え、患者への適切な診療と調剤をサポートするサービスとして好評を得ている。

は宅配(自宅)で受け取る場合は、▽予約・問診(オンライン診療が可能な時間)を設定し予約する。▽診察(予約時間にビデオ通話・電話等による診察を受けることができる)▽調剤・服薬指導(オンライン診療による処方箋は事前に患者が選定した薬局にクリニックから電子送信。薬局で調剤され、予約時間にオンライン服薬指導を受けられる)の防止、クリニックはスムーズな診療、患者との信頼関係の構築、薬局は定期的な処方箋の受け取り、服薬指導業務の簡素化を図ることができるとしている。

局へ足を運ばずにオンライン処方箋を受けられる。処方箋原本が薬局に届けば、薬を配送する。▽決済▽配送という流れになる。新調剤は、「処方箋の原本が直接薬局に渡らないように患者さんに薬が渡ってしまわない」という観点から、クリニック等から患者さんに処方箋を渡す電子媒体で薬局に送り、原本は後で郵送するということがきちんと行われれば良い」と指摘。

「ハイリスク薬を投薬してはいけないなど、きちんとポイントを抑えた対応を」との考えを示している。

すれば、オンライン服薬指導の事故は起きないと思える」と話す。その上で、「患者さん、薬局、クリニックの3者に平等なシステムであること」の必要性を強調。「全ての壁を取り払い、仮にどこから入ったとしても、どこにも行けるようにしなければならぬ」と語る。

オンライン診療・服薬指導は、新型コロナウイルス感染症の流行下でオンライン診療のニーズが広がる中、オンライン服薬指導についても今後はニーズが拡大していくことが予想される。

オンライン診療・服薬指導のサービスを提供している電子お薬手帳の「ホッペ」は、「患者さんから選ばれるクリニック・薬局づくりをしたい」という声から生まれた。2008年から実証実験を重ねており、その過程で薬局と患者からの声を反映。患者の「かかりつけ薬局」になる仕組みを確立しており、今回の業

新調剤は、「現在のオンライン診療・服薬指導ではクリニック等が限定されるなど、患者さんが受けたらと思った医療機関で受けられない」というケースがある。本来は患者主導であるべきと強調。「ホッペオンライン診療・服薬指導」には「その壁を取り除いたかった(新調剤)」という思いが込められている。

「スギ薬局」を中心に、地域の生活者の病氣予防・健康管理に関わる「リアルヘルスケア」戦略を展開している。大樹医療は、中期5カ年計画の中で台湾国内の出店加速や海外への展開を掲げている。ECやサービスのデジタル化、オンライン・ツールの活用など、強化にも注力している。

「ハイリスク薬を投薬してはいけないなど、きちんとポイントを抑えた対応を」との考えを示している。

「ハイリスク薬を投薬してはいけないなど、きちんとポイントを抑えた対応を」との考えを示している。

「ハイリスク薬を投薬してはいけないなど、きちんとポイントを抑えた対応を」との考えを示している。

# 台湾大樹医薬と業務提携

## 経営情報など共有図る

スギHD 東名阪を中心に約1300店舗以上の調剤併設型ドラッグストアを展開するスギホールディングス(HD)は、台湾国内でヘルスケア中心のドラッグストア・薬局を展開する大樹医療(桃園市 鄭明龍社長)と業務提携に合意したと発表された。

大樹医療は、台湾国内で160店舗以上を展開するドラッグストアチェーン「大樹連鎖薬局」の運営企業。台湾のドラッグストア市場でも一定のポジションを確立しており、今回の業

の供給、台湾国内でのスギ薬局のロゴなどの商標も許諾する。

大樹医療は、中期5カ年計画の中で台湾国内の出店加速や海外への展開を掲げている。ECやサービスのデジタル化、オンライン・ツールの活用など、強化にも注力している。

大樹医療は、中期5カ年計画の中で台湾国内の出店加速や海外への展開を掲げている。ECやサービスのデジタル化、オンライン・ツールの活用など、強化にも注力している。

大樹医療は、中期5カ年計画の中で台湾国内の出店加速や海外への展開を掲げている。ECやサービスのデジタル化、オンライン・ツールの活用など、強化にも注力している。

# グループ経営戦略会議を設置

クオールHD クオールホールディングスは、中期目標として掲げる売上高3000億円、営業利益200億円の達成に向け、同社の代表取締役や各グループ会社の取締役で構成する「グループ経営戦略会議」を設置した。

同社は、グループの成長戦略として、安定的な売上が見込める調剤薬局事業と、高収益が見込める医療関連事業の両輪を通じて、売上高3000億円、営業利益200億円を達成する目標を掲げている。

村勝氏、代表取締役業務の福満清氏、常務取締役の石井孝芳氏、調剤薬局を展開するクオール代表取締役社長の柄瀬忠氏、薬剤師の人材紹介やMR派遣などを手がけるアポプラスステーション代表取締役社長の阿部孝孝氏、藤永製薬/メディカルクオール代表取締役

役員は、グループの成長戦略として、安定的な売上が見込める調剤薬局事業と、高収益が見込める医療関連事業の両輪を通じて、売上高3000億円、営業利益200億円を達成する目標を掲げている。

# ミナルギンDXを発売

大正製薬



大正製薬は、L-アルギニン含有食品「ミナルギンDX」を発売した。小粒に凝縮し、2粒ごとに個別包装される。

「ミナルギンDXは、L-アルギニンに加工された。古来から食されている伝統的な素材のマルチ、活動的な男性に不足しがちな亜鉛、タミナ食であるすっぽんの粉末など、4つの活力を配合した製品。小粒に凝縮し、2粒ごとに個別包装される。

# ベルフェミンの承認取得

ゼリア新薬は、軽度の静脈還流障害による足のむくみ改善薬「ベルフェミン」について、要指導医薬品として承認取得したと発表した。

ベルフェミンは、軽度の静脈還流障害による足のむくみ改善薬「ベルフェミン」について、要指導医薬品として承認取得したと発表した。

ベルフェミンは、軽度の静脈還流障害による足のむくみ改善薬「ベルフェミン」について、要指導医薬品として承認取得したと発表した。

ベルフェミンは、軽度の静脈還流障害による足のむくみ改善薬「ベルフェミン」について、要指導医薬品として承認取得したと発表した。

### 「知的財産権」への感性はもはや現代人の必須のスキルです!!

# あなたも取れる知的財産権 無形資産力の時代

本書は、多角な視点から知的財産権を捉え、人々の中に眠る「貴重な経験と知恵」という財産を意識して、現在の企業のM&Aの中でも注目される「企業の無形資産価値」についても言及しています。

「人間の気づきや知恵は貴重な財産である」ことを知るきっかけとなる一冊。

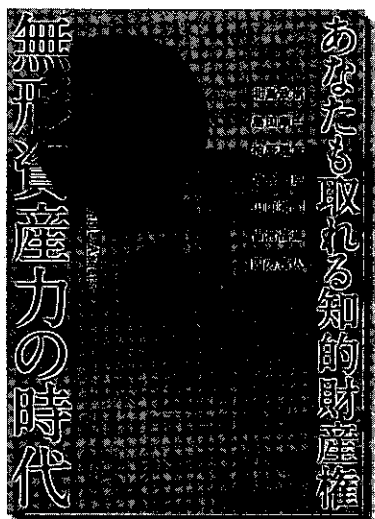
【著者】北島政樹、島田順一、柏野聡彦、岩谷一臣、山口裕司、吉村岳雄、四方浩人

### Contents

1. 医の知財力の強化に向けて
2. 外科医の立場からの User Innovation の経験
3. ものづくりからちえづくり ~ものづくりコモンスの活動での知的財産権関連の重要性~
4. AMED からみた、医療機器分野を巡る知財戦略
5. 医療機器市場における知財紛争と交渉
6. 特許の流通・価値化 日本と米国
7. 中小企業経営から見た知的財産権



詳細はこちら



A5判/140頁/定価1,800円+税

薬事日報社 書籍のご注文は、オンラインショップ (<https://yakuji-shop.jp/>) または、書籍注文FAX03-3866-8408まで。